

日本計算工学会 川井メダルを受賞しました(2014/5/20)

テーマ：計算工学、計算力学、CAE、災害科学

場所：日本計算工学会 2014 年度定時社員総会会場（ミュージア川崎シンフォニーホール市民交流室）

HP：<http://www.jsces.org/Overview/Award/index.html>

一般社団法人日本計算工学会では、初代会長を務めた川井忠彦先生の功績を記念して、本学会の運営発展、あるいは計算工学の発展に特別の貢献のあった会員を、毎年 1 名選出し「川井メダル (T.KAWAI MEDAL)」を授与しています。2013 年度は、計算工学講演会や国際交流活動を中心として計算工学会の運営に長年尽力してきたこと、国内外のジャーナルに公表された均質化法に基づくマルチスケール解析に関する研究成果が、世界的にも高い評価を受けていること、関連する教科書も執筆し計算手法の啓蒙にも努めていること、マルチスケール CAE ソフトの開発を行い実用化にも貢献していること、計算工学に関する功績が CAE・構造工学・土木工学・災害科学など多岐にわたる手法として発展していることなどが受賞理由となり、当研究所の寺田賢二郎教授（教授、地域・都市再生研究部門 地域安全工学研究分野）が受賞しました。

2014 年 5 月 20 日、ミュージア川崎シンフォニーホール市民交流室で開催された 2014 年度定時社員総会の第 II 部において表彰されました。

受賞

寺田賢二郎：2013 年度 川井メダル



受賞式における計算工学会会長との記念撮影



受賞記念メダル

文責：寺田賢二郎（地域・都市再生研究部門）